

は ち に の

第12号

発行
2015年6月29日

マネーらいふ

特集

インフレ、消費増税、低金利——
いま、私たちを取り巻く
環境が変わりつつあります。

連載コラム 第十二回

将来のために「時間」「人脈」「お金」を運用しよう



自分らしく生きることは
自分らしくお金を使うこと

鎌田 實

はじめてのNISAプラン実施中!

写真素材: 戸隠神社 奥社の杉並木

 **八十二銀行**

発行: 株式会社金融リテラシー研究所 編集協力: 株式会社八十二銀行

インフレ、消費増税、低金利——

いま 私たちを取り巻く環境が 変わりつつあります。

「デフレ脱却」のために、年率2%の「インフレ」を目指すアベノミクスがスタートして2年が経過しました。今後インフレが定着すると、これまでの預貯金中心の生活では「資産の目減り」に直面するかもしれません。私たちを取り巻く環境が変わり始め、「資産運用」と「家計の見直し」の必要性が増えています。

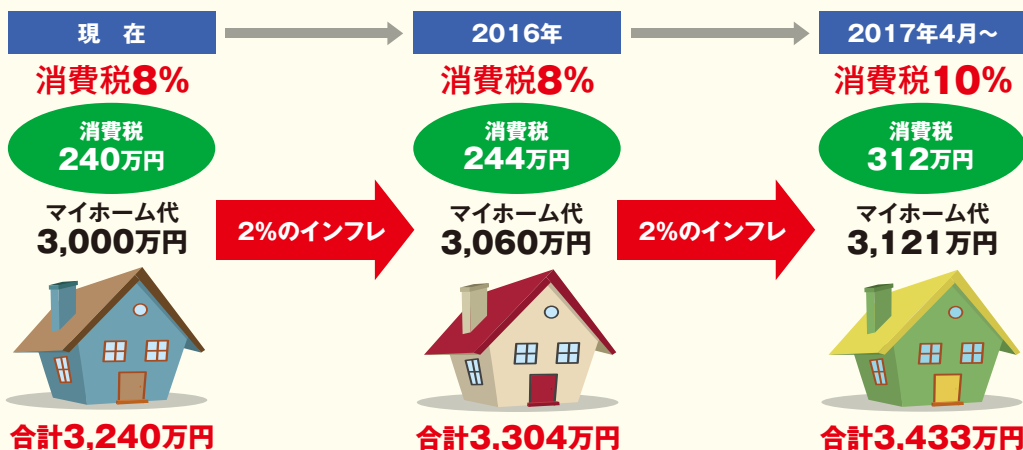
知っておきたい3つのトレンド

トレンド1 インフレ=物価上昇

トレンド2 消費税再引き上げ

インフレとは、「モノの値段が上がり、お金の価値が下がる」ことをいいます。消費者はモノの値上がりに合わせて自分のお金も増やさないと、同じ金額では同じ商品を買えなくなってしまうのです。また、2017年4月には消費税が8%から10%に再度引き上げられます。マイホームや車の購入といった大きな買い物では、この2%の差が大きく影響してきます。

例えば、マイホームの購入だと…

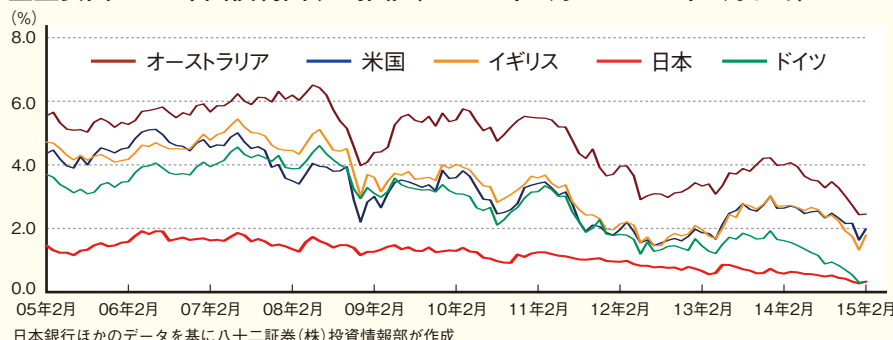


インフレに加え
消費増税によって、
さらに負担は
大きくなります！

※1万円未満は切捨てて算出しています。

トレンド3 歴史的な日本の低金利環境

■主要国の10年国債利回りの推移(2005年2月～2015年2月まで)



世界の中でも日本の国債利回りは低水準で推移しています。また、日本の普通預金金利は平均で年0.02%と低く銀行預金だけでは資産の成長は期待できません。

インフレ+消費増税+低金利のトレンドは、
資産運用に目を向け、自分自身の家計を見
直すチャンスでもあります。ここからは、実
際の対策について考えてみましょう。

対策は「資産運用」で!

資産運用の基本は「分散投資」と「長期投資」にあり!

いざ運用を始めようにも、「預貯金と違って、値動きが不安」と感じる人は多いはず。この値動きのブレ幅を抑えるコツは、長期的な視野に立ってじっくりと運用すること。なかでも、投資信託なら少額から始められ、投資初心者でも資産運用への一歩を踏み出すのにぴったりの商品といえるでしょう。

ポイント1

3つの「分散」

1つ目は国内外の幅広い資産に投資する「資産分散」、2つ目は為替の影響を抑える「通貨分散」、3つ目は購入時期をずらし高値づかみを防ぐ「時間分散」です。資産運用を行う上で、3つの「分散」は値動きと上手につき合う重要なポイントといえます。

■「資産」「通貨」「時間」を分散し、値動きと上手につき合う

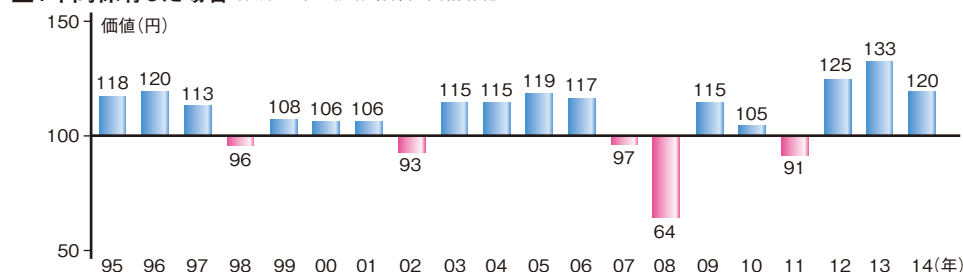


ポイント2

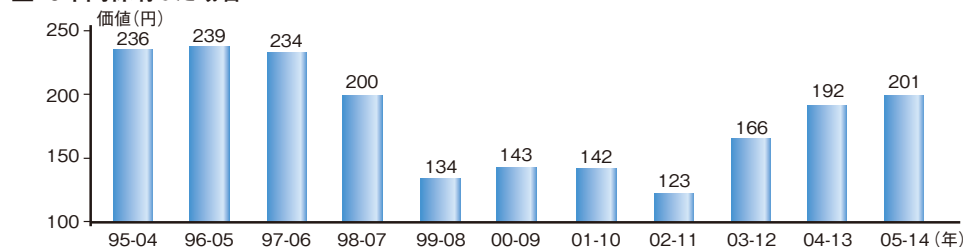
長期投資

長期投資は、日々の価格変動に一喜一憂せずに、保有期間中の分配金の再投資による「複利効果」とファンドの「基準価額の上昇」に期待しながら、長い目で見る必要があります。右のグラフを見ると、「1年間保有した場合」では運用成果にばらつきがありますが、「10年間投資した場合」では安定的な運用成果をあげていることが分かります。

■1年間保有した場合 作成:八十二証券(株)投資情報部



■10年間保有した場合



※上図グラフは国内株式・国内債券・海外株式・海外債券・国内リート・海外リートを均等配分した〈分散プラン〉の配分で各期間の初めに100投資し、期間の終わりにすべて売却したと仮定した場合の、投資期間別の収益効果を表わしております。
 ※10年間保有した場合については、各年の年末に分散プランの配分に調整し、再投資したものと仮定して計算しております。
 ※当資料のグラフ・数値は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。



資産運用はNISA(少額投資非課税制度)を活用!

NISAのポイント

- NISA口座の投資で得た収益は非課税に
- 口座開設金融機関は毎年変更可能
- 非課税期間は最長5年間
- 2016年から非課税投資枠が年間120万円に
- 課税口座と損益通算できない点には注意
- 2016年からジュニアNISAがスタート

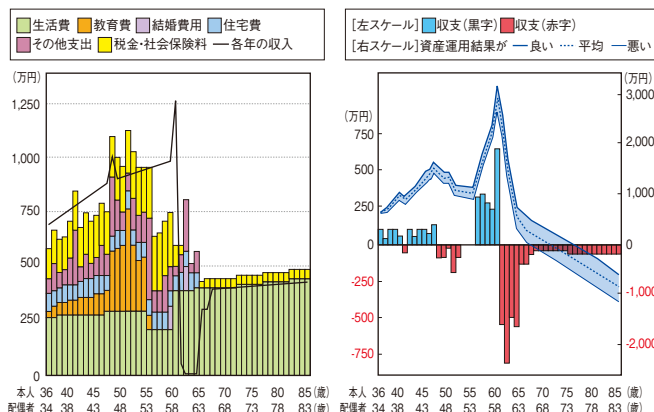
対策は「家計の見直し」で! 「将来の収支」と「保障の過不足」をチェック!

結婚や出産、マイホーム購入といったライフイベントにどのぐらいの費用がかかるかご存知でしょうか? さまざまな人生の節目がある中で、お子さまの教育資金や自身の老後資金などを計画的に備える必要があります。



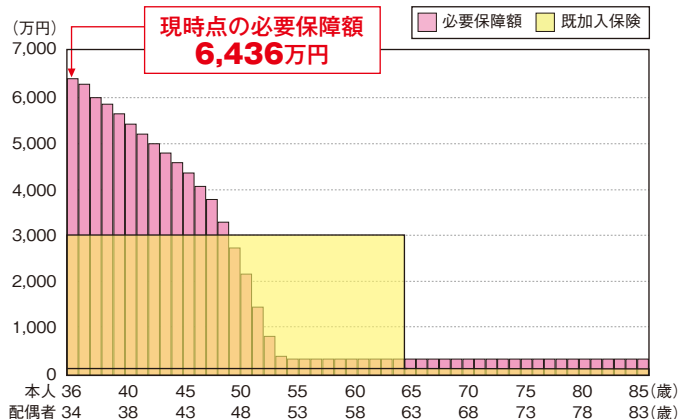
2つのシミュレーションで将来予測してみましょう

生涯収支分析 (イメージ)



収入・支出と資産残高の推移から、
ライフステージに応じた
家計の見直しをご提案します。

既加入保険分析 (イメージ)



加入している生命保険と必要保障額から、
月々のムダや不足を診断し
支出を抑えるポイントをご案内します。

ライフイベントにかかる費用の例

結婚(挙式・披露宴・披露パーティー込)

約**334万円**

マイホーム(土地付き注文住宅の場合)

約**3,637万円**

教育費(幼稚園~高等学校まで公立、大学は私立で下宿の場合)

約**1,468万円**

夫婦2人のセカンドライフ(ゆとりある生活の場合)

月**35.4万円**

八十二の〈ライフプラン・シミュレーション〉

住宅ローンや教育費のほか、万が一の際の必要保障額など、長期的な視野での試算から将来に向けたマネープランを無料でご提案いたします。

データ出所:株式会社リクルートマーケティングパートナーズ「ゼクシィ結婚トレンド調査2014調べ」、独立行政法人住宅金融支援機構「平成25年度フラット35利用者調査報告」、文部科学省「子供の学習費調査」(平成24年度)、独立行政法人日本学生支援機構「平成24年度学生生活調査結果」、(公財)生命保険文化センター「平成25年度 生活保障に関する調査」

将来のために「時間」「人脈」「お金」を運用しよう

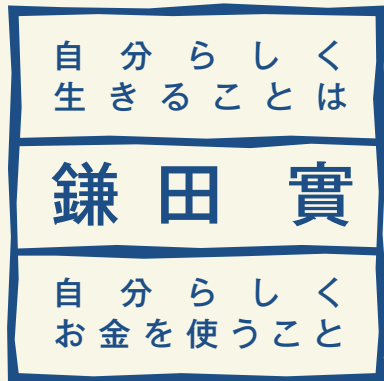
ぼくは18歳の時、「大学なんて行くな。貧乏人は働けばいい」という父親の言葉に抵抗して、どうしても大学受験をさせてほしいと強くお願いしました。「受験に失敗したらどうするのか」という問いに対し、ぼくは「寿司屋に働きに出る」。充実した人生を送るためには、サラリーマンよりも、手に職を付けた方が確実に自分の生き方を決められると考えたからです。どうせ苦労して働くのなら、小さい頃年に一度だけ父親が連れていってくれた、いわばぼくにとってハレの日のご馳走である寿司屋にしようと思ったわけです。

寿司屋になっていたら一人前になるために、きつと10年、20年は丁稚奉公で、安月給の苦しい生活が続いていたでしょう。でも、限られた時間を大切にやりくりし、修行中はお客さんと仲良くなつて自分がお店を出す時に応援してくれる人をつくり、少ない資本を無駄遣いせずコツコツ貯める。

この「時間」と「人脈」と「お金」を蓄えることが、人生を生き抜いた

めにもビジネスを成功させるためにも、重要な財産といえます。そして貯める一方でなく、蓄えた財産を運用し広げていくことが大切です。人間関係でいえば、初めに知り合った人から誰かを紹介してもらい、お金でいえば、

安月給のうちの何割かを将来のための投資に使うこと。この3つの財産を上手にマネジメントすることができれば、大学受験にしても就職にしても、簡単にはのし上がれないような勝負にも勝つことができるでしょう。



もし医学部に落ちていたら、
ぼくは日本一の寿司屋を
目指していました。



かまた・みのる／医師・作家。1948年東京生まれ。東京医科歯科大学医学部卒業。医師として地域医療に携わり、チェルノブイリとイラクの医療支援にも取り組む。ベストセラー『がんばらない』をはじめ、『ウェットな資本主義』『ニッポンを幸せにする会社』『人間らしくヘンテコでいい』『1%の力』など著書多数。現在、諏訪中央病院名誉院長。

こうした信念を持つて受験勉強に取り組んだ結果、ぼくは医学部に進むことができたが、もし本当に寿司屋になつていたらとしても、誰にも負けない満足度の高いお店をつくれる自信がありました。3つの財産の貯蓄と運用を実践して、自分のお店を1店舗さえ出店することができれば、誰よりも働き、そのうち2、3店舗目と出店して全国チェーンに。いずれは海外の和食ブームに乗って、世界チェーンに展開する日本一の寿司屋になるのも夢ではなかったかもしれません。

「鎌田は国立医学部に入学できたからいいよな」という人もいるかもしれませんが、ぼくは大学に落ちていた方が面白いのある人生になつていたので、今でも思っています。

はじめてのNISAプラン

実施中!

NISA口座を開設すると

QUOカード
500円分プレゼント!!



〈イメージ〉

※QUOカードは送付月の前月末までに口座開設となったお客さまへ、順次発送します。
(送付月2・5・8・11月予定)

※QUOカード発送時にNISA口座、投信口座が解約されている場合は対象外です。

※プレゼントは個人の方に限り、おひとりさま1回とさせていただきます。

※プラン内容は予告なく変更となることがあります。



お申込みは八十二銀行へ!

NISAは八十二銀行窓口で口座開設手続きができます。ぜひお近くの支店へご相談下さい。

【投資信託に関する留意事項】

- ◆投資信託は元本の保証はなく、組入資産等の変動により価格が変動し、投資元本を割り込むリスクがあります。このリスクはお客さまご自身にご負担いただきます。
- ◆投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。
- ◆当行は、投資者保護基金の会員ではなく、同基金による保護の対象ではありません。
- ◆当行は投資信託の販売会社です。投資信託の設定および運用は、投資信託委託会社が行います。
- ◆ご購入時等には手数料等の費用をいただきます。各ファンドの料率は異なりますので、詳細は投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面でご確認ください。なお、平成27年6月1日現在の上限料率は次のとおりです。

【申込手数料率】申込金額の最大3.24%(税込)

【信託財産留保額】換金時の基準価額の最大0.50%

【信託報酬】ファンドの純資産総額に対し年率2.5%以内(税込)

※投資対象ファンドが成功報酬制を採用している場合、成功報酬額は運用実績により変動しますので、事前に料率・上限を表示することができません。

【その他費用】監査報酬・組入資産等の売買手数料等

(その他の費用については運用状況等により変動するため事前に料率・上限額等を表示することができません)

*各ファンドにかかる費用の最大合計額は、保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。

■投資信託をご購入の際には、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面を十分にご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

資料のご請求はお気軽にどうぞ



〔商 号 等〕株式会社八十二銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第49号
〔加入協会〕日本証券業協会
一般社団法人 金融先物取引業協会

八十二のハローはちに
☎通話料無料 0120-82-8682

受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日および12/31~1/3を除く)

音声ガイダンスに沿って☎▶■を操作してください。

資産づくりのおすすめ情報満載! ▶ <http://www.82bank.co.jp/>

は ち に の マ ネ ー ら い ふ 発行:2015年6月29日